



目指せ！ 平成維新

橋下徹さんも、そのことが十分わかってい
るからこそ、選挙戦後、浮かれてはいない
のでしよう。

じゃあなぜ今回、みんなの党が他の既成
政党と違って「維新の会」を応援したのか。

大阪秋の陣、「維新の会」のW勝利、し
かも圧勝で終わりましたね。これまで自民
や民主を相手に衆院小選挙区を戦ってきた
私からすれば、予想通りといった感じです。

我がみんなの党も、渡辺喜美代表が選挙戦
中5回も大阪に入って応援しました。まず
は「おめでとう」と言いたいと思います。

「都構想」「公務員制度改革」ぜひ実現してほしい

ただ、問題はこれからですよ。期待が大
きかった分、落胆も大きかったなんて、民
主党の政権交代のようになっては困る。「大
阪都構想」、その実現までには多くの、し
かも高いハードルが待ちかまえています。

が大事。その目指す「アジェンダ」、すな
わち、「大阪都構想」と「公務員制度改革」
を実現してもらいたい！その一心です。

「大阪都構想」は、まだまだわかりにく
いと思いますが、それが将来の「関西州」
につながる、「道州制」の全国的な導入に
発展する。また、国政では霞が関や守旧派

政治家の反対で実現していない「公務員制
度改革」の、大阪での先行モデルになる。
そういう思いで応援したわけです。

だから、どこかの政党のように、選挙結
果が出てから手のひらを返したように協力
を表明したところとは違います。あわよく
ば、勢いのある「維新の会」と次の衆院選
で連携したい、そんな魂胆がみえみえ。国

その「本気度」はいずれわかりますよ。

みんなの党がこんな政党には「踏み絵」を
踏ませますからね。早速、私は火曜の記者
会見で「この大阪都構想実現のために、地
方自治法改正等の議員立法を年内に作成す

る」と表明しました。もちろん「維新の
会」と考え方をすりあわせた上です。
幸い、「維新の会」政策顧問の上山信
一慶応大学教授や大阪の公務員制度改革を
立案している原英史政策工房社長は、私
が主宰している「脱藩官僚の会」の主要
メンバーでもあります。また、堺屋太一
さんも両者共通の後見役。人脈が共通し
ているのでコラボに問題はありません。
この法案に賛成するかどうか、一発でその
政党の正体はわかりますよ。

WHO'S WHO

江田憲司（えだ・けんじ）195
6年岡山県生まれ。東大法卒。通産
省入省。ハーバード大研究員、大臣
秘書官等を経て橋本内閣の首相秘書
官。中央省庁再編や財政再建、普天
間・北方領土返還等に携わる。完全

無所属で衆院議員を務め、09年8月にみん
なの党を結党。幹事長に就任。現在3期目。

「維新の会」応援したのは「アジェンダの党」の自負